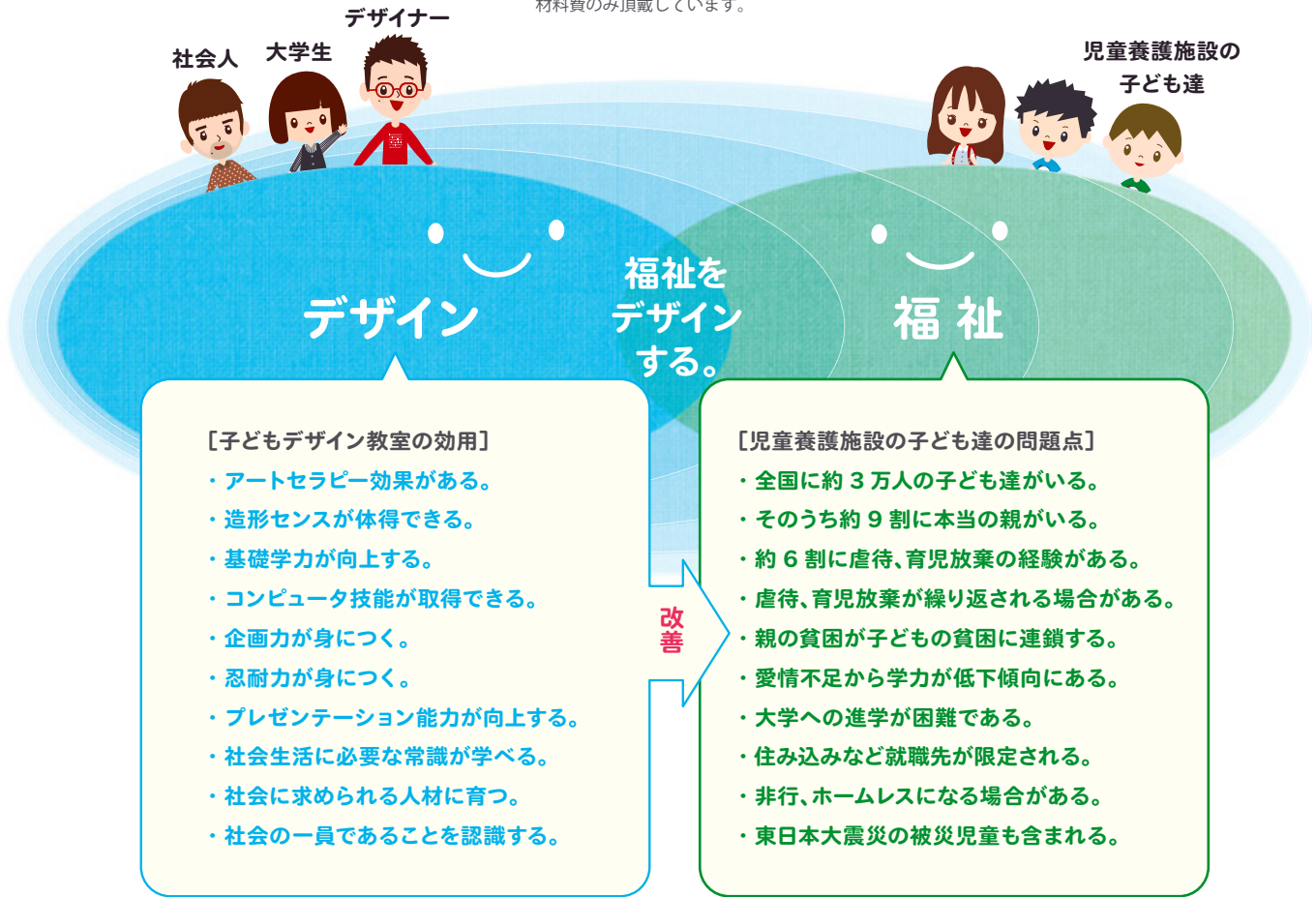


① 特徴

子どもデザイン教室は 2007 年から、
児童養護施設の子ども達に受講料無料でデザインを教えています。

材料費のみ頂戴しています。



② 目的

児童養護施設の子ども達が抱える問題を、デザインの力で改善します。

使命
その1

私達の使命の第1は児童養護施設の子ども達の困難な**進学状況を改善**することです。そのために①デザイナーが造形センスを、②大学生が基礎学習を、③社会人が資格技能をおしえる「**子どもデザイン教室**」を2007年より大阪で開催しています。

使命
その2

私達の使命の第2は児童養護施設の子ども達の**就労環境を創造**することです。そのために「**子どもキャリアクタービジネス**」の経営をはじめています。

使命
その3

私達の使命の第3は健全な**次世代を育成**することです。そのために小規模住居型児童養護施設（グループホーム）を設立し、**6人の里子を育てます**。また、この活動の後継者も育てます。

→ このことで児童養護施設の子ども達が直面する社会的排除、
貧困、虐待、育児放棄などの問題解決の一翼を担います。

③ きっかけ

代表・和田隆博は2002年から大阪市立扇町総合高校と、大阪市立デザイン教育研究所でデザイン教育に携っています。そのなかで代表はデザイン教育による「総合学習の有効性」を見いだしました。またその頃、子ども達の虐待、育児放棄、貧困問題を知りようになり、「デザイン教育の効用で福祉問題を解決できるのでは?」と考えるようになりました。そして2007年、新しい形のソーシャルデザインを実践するため、児童養護施設の子ども達にデザイン教育をはじめました。

④ 略歴、助成・受賞歴

2007年 社会福祉法人 聖家族の家のご協力をえる。

2009年 二度童子奥田基金 助成事業、福祉医療機構 助成事業に認定される。

2010年 大阪コミュニティ財団 佐治敬三顕彰基金事業、NTTドコモ市民活動団体 助成事業に認定される。

2011年 大阪市コミュニティ ビジネスプラン特別賞を受賞する。

2011年 大阪市立大学ボランティアセンターのご協力をえる。

Childrens Views & Voices (児童養護施設経験者による生活支援組織)のご協力をえる。

2011年 NHK教育テレビ「デジスタティーンズ」にて子ども達の作品が紹介される。

⑤ 内容

使命その1 子どもデザイン教室の開催

児童養護施設の子どもの達と、この活動の支援家庭の子どもの達は、月～土曜日(土曜日は3回)の週6回・計9回(1回1～2時間)、子どもデザイン教室で絵本やアニメーションを制作しています。特に児童養護施設の子どもの達は様々な経験から心身に何らかの問題を抱えている場合があります。デザインにはそうした問題を癒す「絵の力=アートセラピー効果」があります。そして絵本、アニメーション作りは総合学習でもあります。子ども達は創造力、考える力、コンピュータ技能を楽しみながら取得します。参加した子ども達の延べ人数は1,416人(2010年度単年)です。計画では1年後、京阪神の児童養護施設の子どもの達、東日本大震災で被災された方々、企業、保育園・幼稚園向けに「出張デザイン教室」を開催します。また情報通信会社と提携し、全国の児童養護施設の子どもの達向けに「インターネット絵本教室」を開催します。さらに、その作品を世界に発信する「子ども絵本サイト」も運営します。

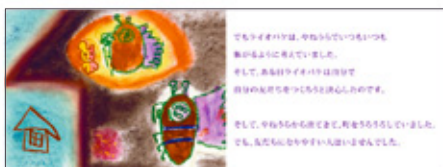
アニメーション



NHK教育テレビ「デジスタティーンズ」で2作品が紹介されました。

2011.4.13「ジャガイモくんダイエットに挑戦」(左)・2011.5.18「とってとられて」(右)

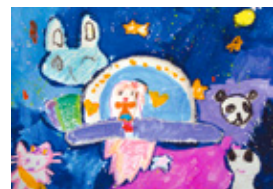
絵本



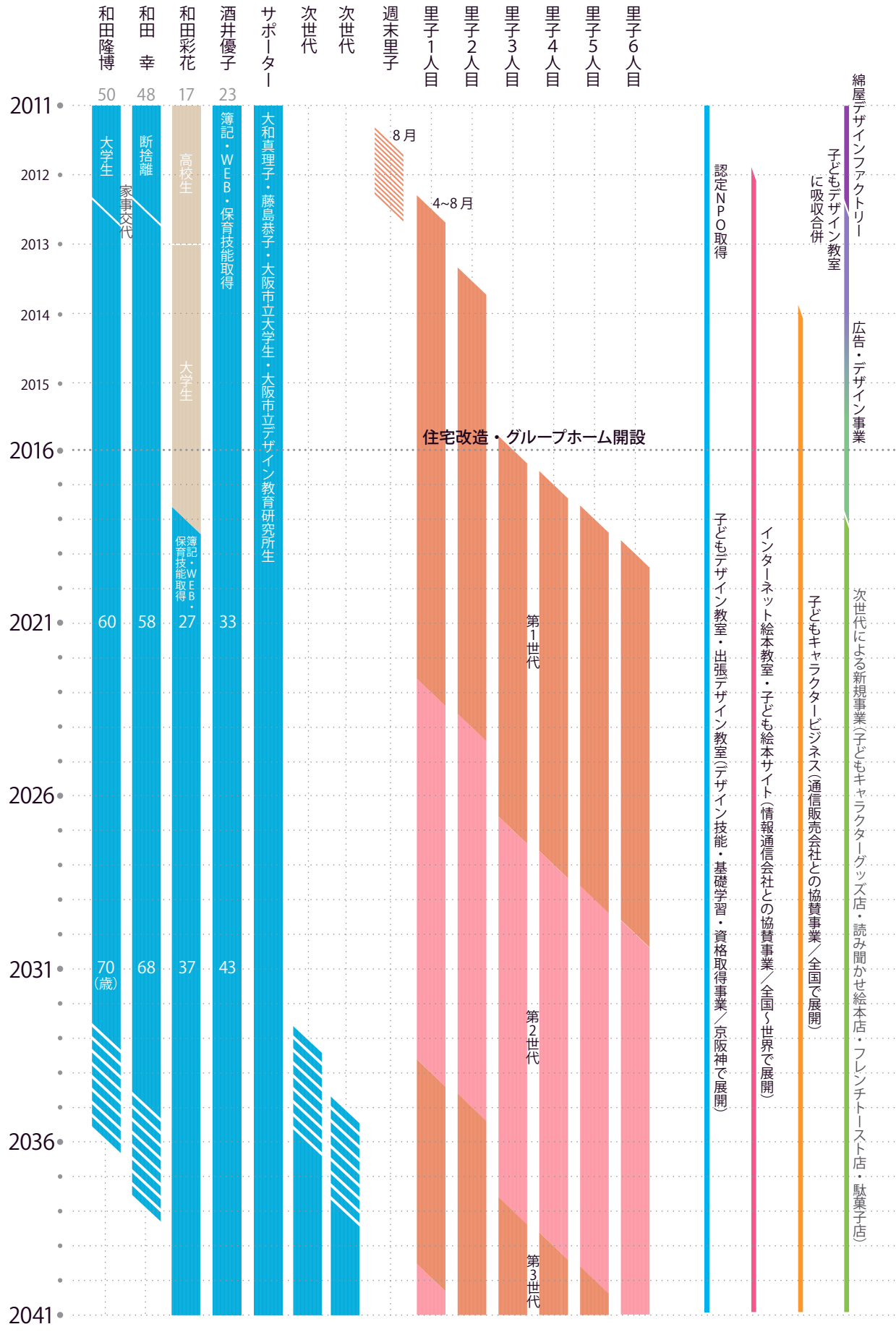
子ども絵本サイト



イラスト・立体作品



⑦ ロードマップ



認定 NPO 法人の資格取得のために、

ご寄付をお願いします。

認定 NPO 法人の資格取得には、お1人 3,000 円、100 名の寄付が必要です。

子どもデザイン教室の
ホームページから
ご寄付いただけます。



なぜ認定 NPO 法人か？

- ① 寄付された方に税制上の措置があり、寄付しやすい環境になります。
- ② より高い内部管理が必要となり、社会的信用が増します。
- ③ より進んだ情報公開を行うようになり、認知度が高まります。

私達は何ものか？

児童養護施設の子ども達に

- ① デザイナーがデザインをおしえる
 - ② 大学生が勉強をおしえる
 - ③ 社会人が資格技能をおしえる
- 大阪の NPO 法人です。
(2007 年設立)

なぜ活動するのか？

児童養護施設の子ども達の困難な進学、就職問題を改善するために、社会生活に必要な常識をおしえることで、児童養護施設を卒所した若もの達の社会排除、貧困の連鎖を改善します。

最初のゴールは？

5 年後、小規模住居型児童養護施設 (グループホーム) を大阪市内に設立し、6 人の里子と後継者を育てます。

ほかにも 1 年後「出張デザイン教室」と「インターネット絵本教室」を開催し、児童養護施設の子ども達の作品を「子ども絵本サイト」で公開します。
さらに 3 年後「子どもキャラクタービジネス」を営し、児童養護施設を卒所した若もの達の就労環境を創造します。